

Life field of Creation

概念デザイン特別講座

125CPによる概念分析；青学のダントツ勝利戦略
4連覇！、敗北！、復活！、2位、そしてダントツの完全優勝
その戦略概念構造とは…それでもはや他大学は追随できないこと…の解説
2022年新春版

2022年度版 講師 概念デザイン研究所 山口泰幸
Email taizan@gainendesign.com HP <http://www.gainendesign.com/>

Copyright © 2020by Yamaguchi Taikoh 許可なく複製を禁じます。

2020年の暮れに前段のエッセイを書きました。四連覇の勝利構造とその後の敗北、さらに2021年初春への勝利の道について述べた内容でした。これは青学へのエールと同時に、青学打倒を目指す他大学への意見具申でもありました。⇒ <http://www.gainendesign.com/ron/GDZ-123CP-for-Aogaku2020.pdf>

しかし2021年正月、みごとに青学はそのエールを裏切り、往路ではなんと第12位という大番狂わせ、復路ではそれを挽回する優勝ということでしたが、総合優勝は駒澤大学に持って行かれました。

そして今年2022年の正月は、青学が往路優勝、復路優勝、総合優勝で、しかも2位以下に10分以上の大差をつけ、いわゆる完全勝利を手中に収めました。

この完全勝利で、青学は『青学way』というものを構築し終わり、当面他大学が追随できない状況にまで箱根駅伝道を完成させたと言えます。もはや、他大学が青学を打倒できるのは、青学に“敵失”があったときのみのような気がします。それはその時、他大学がたまたま運良く勝てるのであって、戦略的に青学を攻略できたのでは無いからです。他大学が青学を戦略的に打倒し、完全勝利を収めるのは極めて難しいことになりました。青学の箱根駅伝におけるトヨタ化；寡占化がおきてしまったのです。

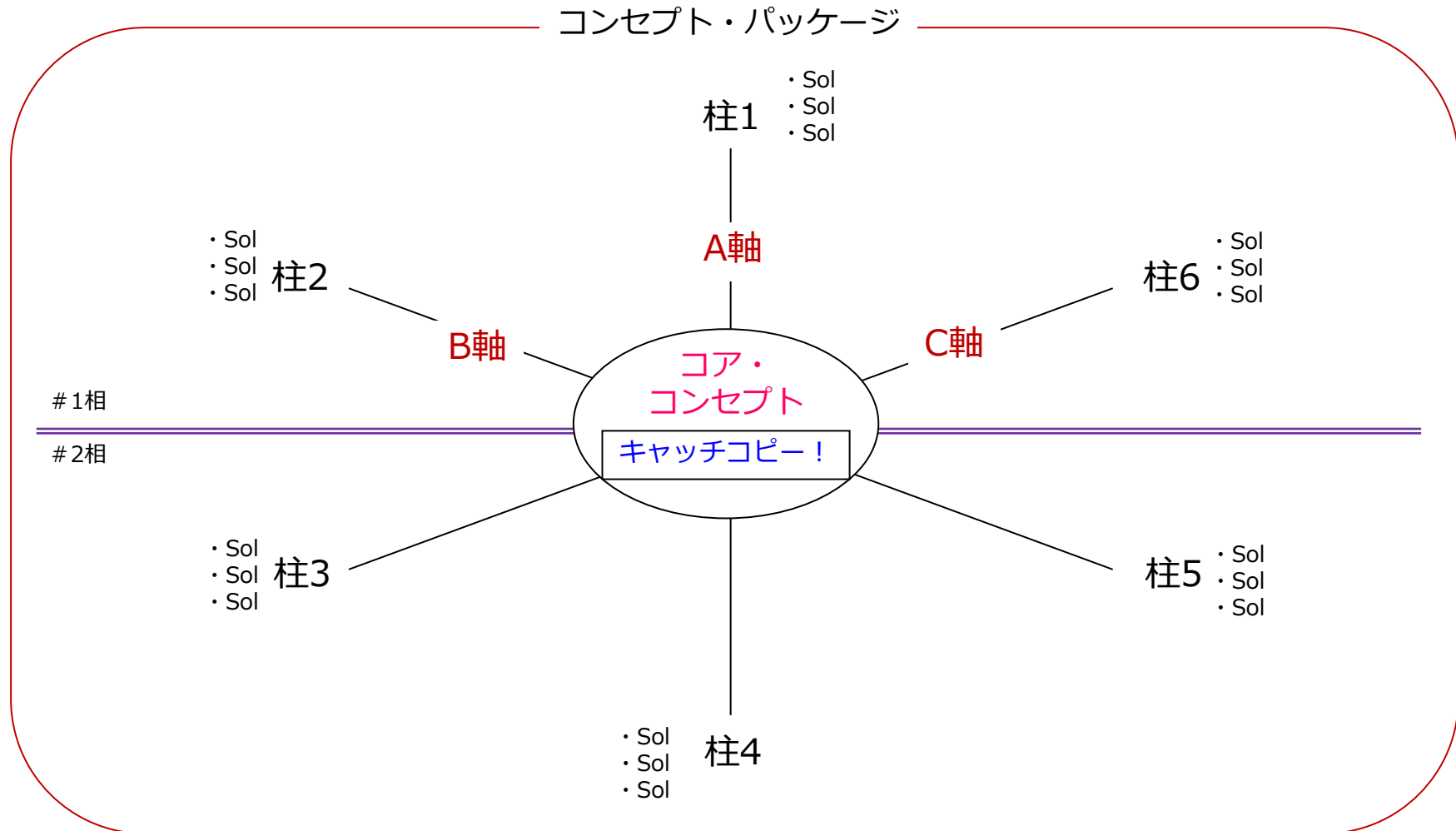
青学の原監督を他の大学が超高額でヘッドハンティングすれば、この状況は大きく変わりますが、原監督は多分金銭では動かないでしょうね。

その経緯を概念デザイン・メソドロジーのCP法（コンセプト・パッケージ法）で追ってみたいと思います。

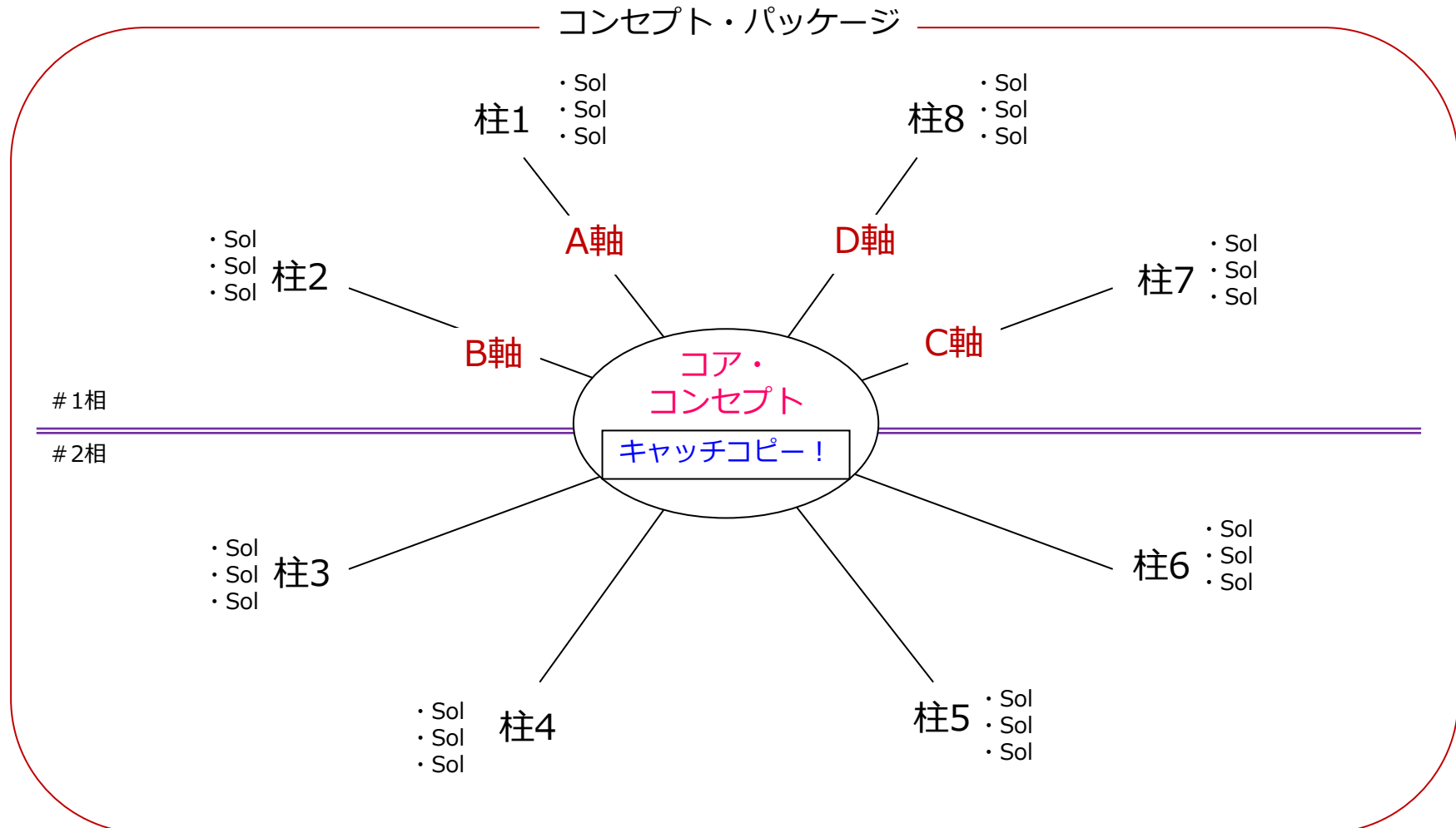
- 1 『123CP法』、『124CP法』、『125CP法』の概説
- 2 勝てるチームの概念構造と、優れたリーダーシップ
- 3 青学4連覇時の戦略とは…マーケティング論から考える
- 4 2019年敗北の理由…監督の戦略構築ミス
- 5 2020年再勝利のポイント…監督の新戦略構築が奏功
- 6 2021年2位に甘んじた理由…監督の戦略を逸脱した温情が裏目に
- 7 2022年ダントツ完全勝利…完璧なる125CP戦略の確立と実行
- 8 まとめ…青学箱根駅伝勝利の道筋完成…もはやこの王国を崩すのは極めて難しい



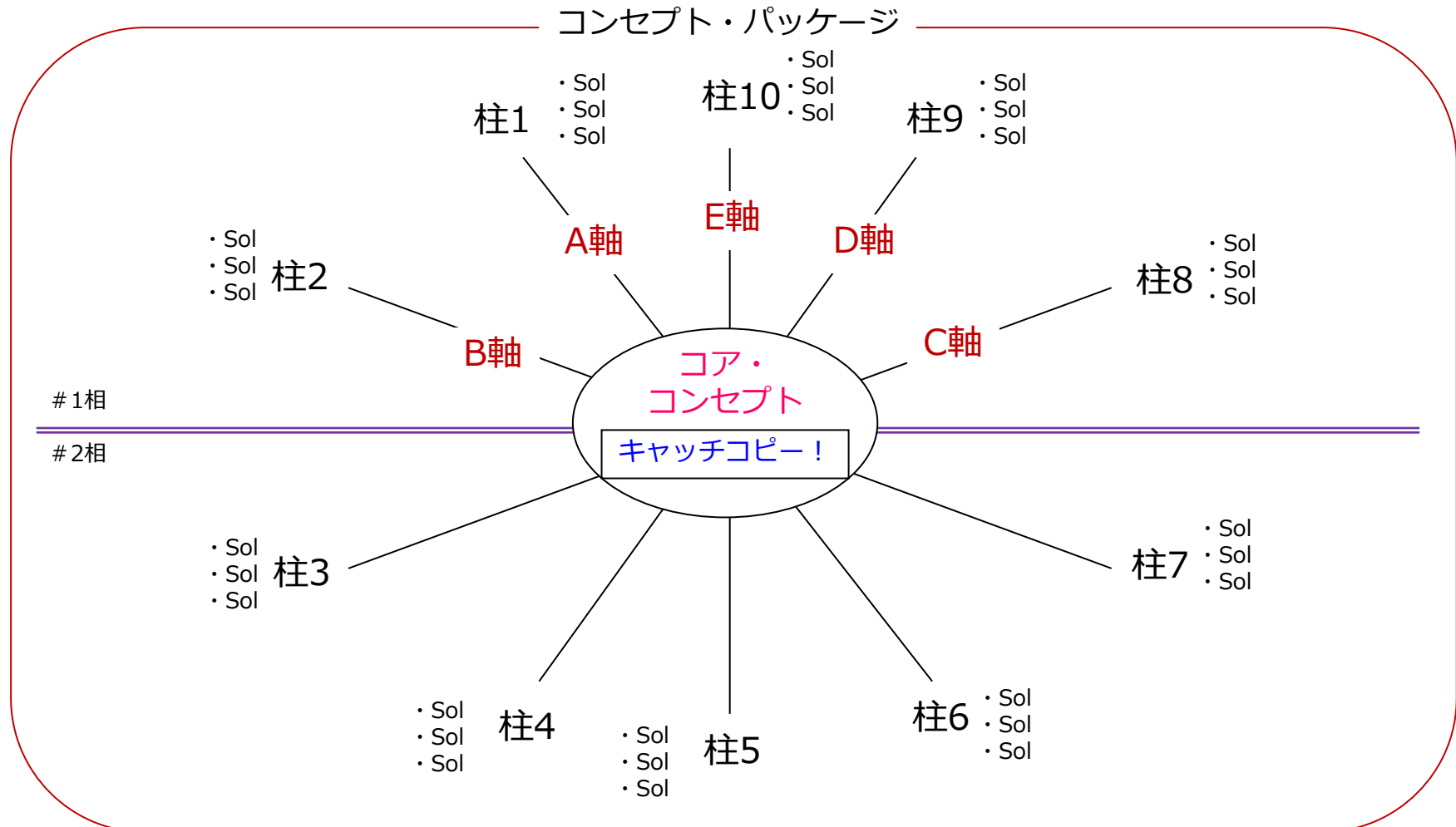
- ※ CP法 = コンセプト・パッケージ法 ; 概念デザイン・メソドロロジーの主要ツールのひとつ
- ※ 123 ⇒ 1つのコア・コンセプト、2つの相、3つの軸
- ※ コンセプト・パッケージの構成要素
; 「コア・コンセプト」「キャッチコピー」「複数軸」「柱群」「ソリューション群」
- ※ CP:コンセプト・パッケージは対象概念を認識し戦略を構築する最も基本的な概念構造化仮説



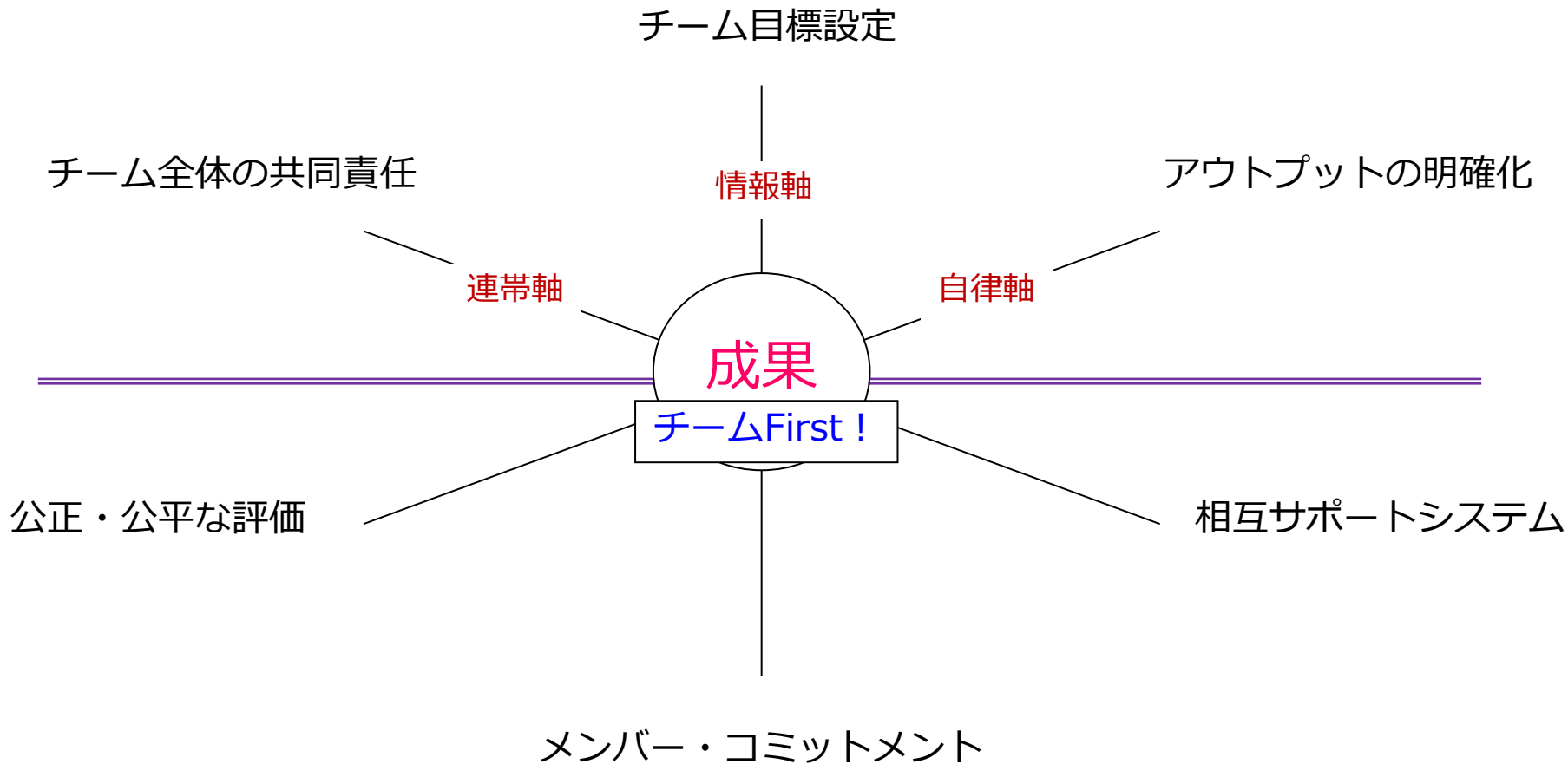
- ※ CP法 = コンセプト・パッケージ法 ; 概念デザイン・メソドロロジーの主要ツールのひとつ
- ※ 124 ⇒ 1つのコア・コンセプト、2つの相、4つの軸
- ※ コンセプト・パッケージの構成要素 ; 「コア・コンセプト」「キャッチコピー」「複数軸」「柱群」「ソリューション群」
- ※ CP:コンセプト・パッケージは対象概念を認識し戦略を構築する最も基本的な概念構造化仮説



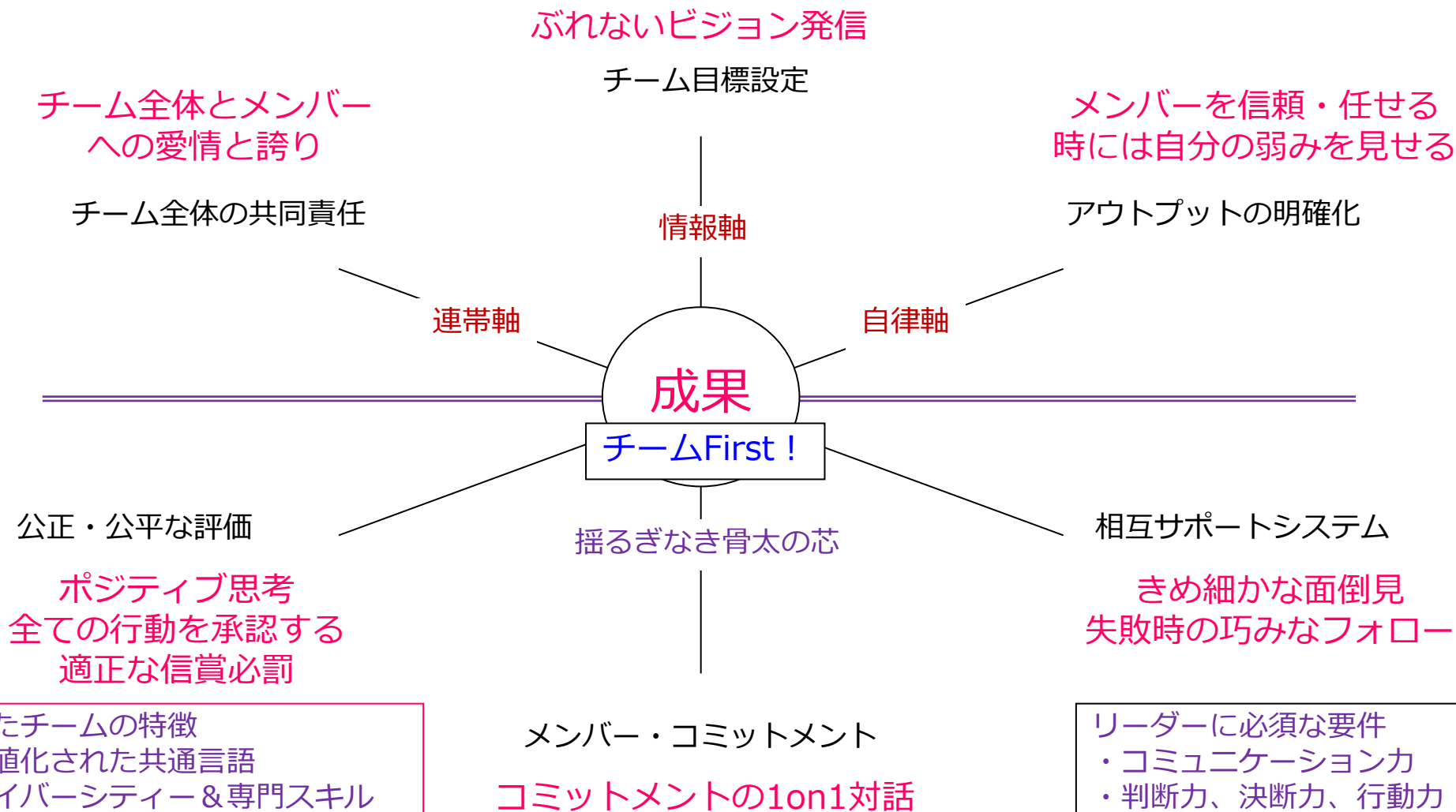
- ※ CP法 = コンセプト・パッケージ法 ; 概念デザイン・メソドロロジーの主要ツールのひとつ
- ※ 125 ⇒ 1つのコア・コンセプト、2つの相、5つの軸
- ※ コンセプト・パッケージの構成要素
; 「コア・コンセプト」「キャッチコピー」「複数軸」「柱群」「ソリューション群」
- ※ CP:コンセプト・パッケージは対象概念を認識し戦略を構築する最も基本的な概念構造化仮説



123CP ※ 優れたチームの概念構造化仮説は下記のように設定できる。概念デザイン研究所の研究結果。



123CP ※ 優れたチームを率いるリーダーの要件は下記の通り。概念デザイン研究所の研究結果。



優れたチームの特徴

- * 数値化された共通言語
- * ダイバーシティ&専門スキル
- * チームの勝利こそ最高の喜び
- * その一員であることへのプライド
- * 優れたリーダーが育っている

リーダーに必須な要件

- ・コミュニケーション力
- ・判断力、決断力、行動力
- ・リスクマネジメント力
- ・ロジカル・シンキング力
- ・バランス感覚



※ 青学もやっている（であろう）『褒めて育てる』活性化術

「ありがとう」と、感謝されれば、やる気が出る。

「いいね」って、褒められれば、やる気が出る。

「うまくいくよ」と、励まされれば、やる気が出る。

「笑顔でおはよう」で、こちらも笑顔で挨拶、やる気が出る。

「おもしろいね」と、認められれば、やる気が出る。

やる気が出れば ⇒ 結果は自然についてくる！！！！



※ 青学4連覇2018年の戦略は勝てるチームとして、戦略がしっかりと構築されていた！…といえる。

123CP



共同寮生活
監督と選手間の近い距離

情報共有

強み増進の自主練

チーム志向

情報軸

自律軸

連帯軸

青学トレ；体幹トレ（ケガ減少）
独創的な練習コース

チームの勝利が全員の勝利
レギュラー獲得競争あり
4年生でも出場不可のことも

勝利

僕たちだってやれる！

多大学には無いMKTG戦略

相互サポート

個別目標設定

脱落者はレギュラーをサポート

自己申告

個人が作成する目標管理シート
原監督が企業の営業部員時代に
培った、達成感味わい法

自分の強み弱みを全て開示

心根の悪い人間が、チームをだめにする（原監督名言より）



- ※ 4連覇戦略の踏襲が基本だった。；継続的な戦略の進化が必要！
- ※ 他校が意識していることを考えれば、『勝利軸』が不足していた！；3軸+1軸
- ※ 「勝ち続ける戦略」と「勝利への執念」の2柱が不足し、甘さが露呈！

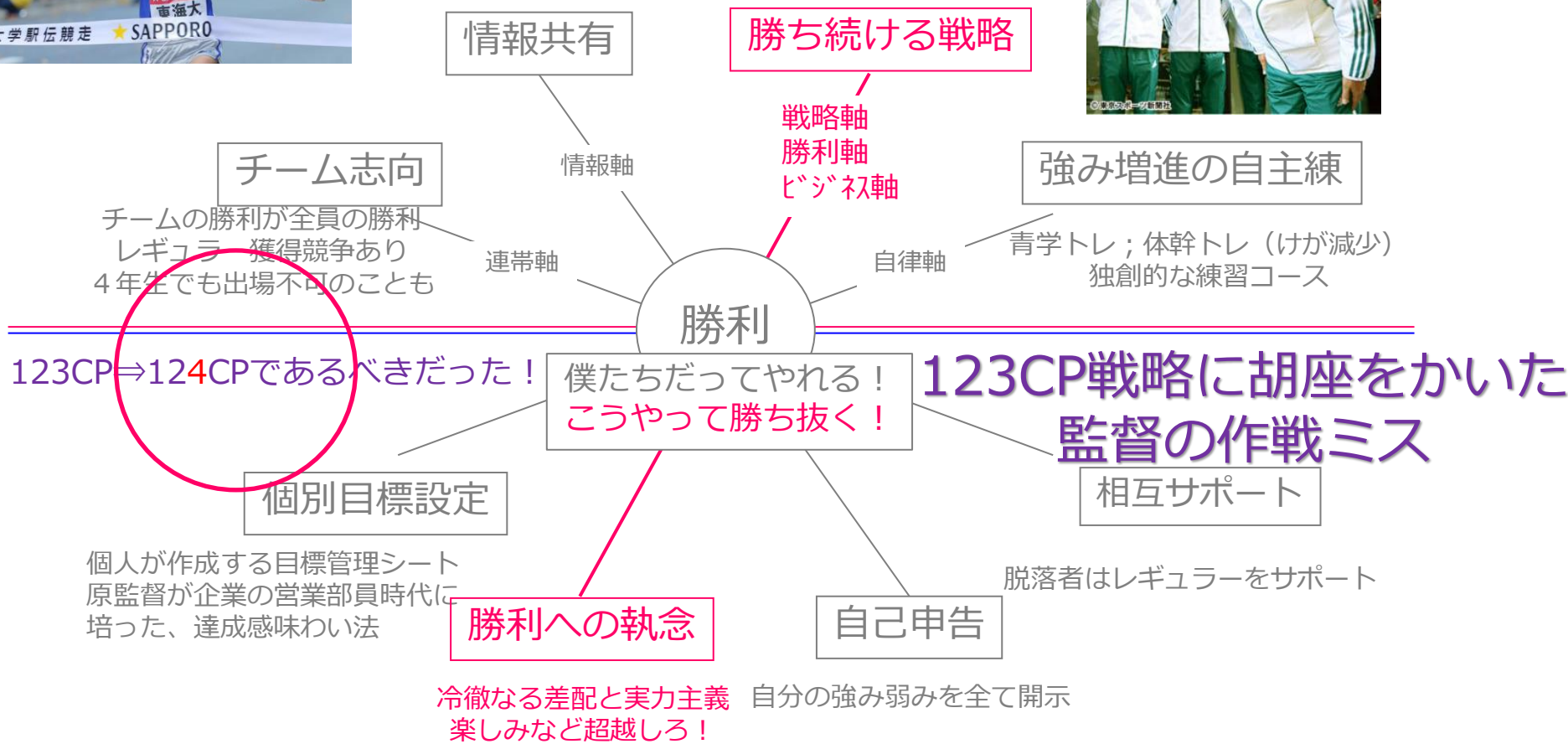
123CP⇒そのまま



※もはや挑戦者ではない！
 ※常勝のプロで無ければならぬ！

共同寮生活
 監督と選手間の近い距離

+アルファの武器



※勝てる武器と戦略を具備して、必ず勝て！



124CP

※ 前ページの勝利のための基本戦略が完璧に遂行できたから！



※もはや挑戦者ではない！
※常勝のプロで無ければならぬ！

共同寮生活
監督と選手間の近い距離

+アルファの武器

情報共有

勝ち続ける戦略

チーム志向

戦略軸
勝利軸
ビジネス軸

強み増進の自主練

チームの勝利が全員の勝利
レギュラー獲得競争あり
4年生でも出場不可のことも

連帯軸

自律軸

青学トレ；体幹トレ（けが減少）
独創的な練習コース

勝利

123CP⇒124CPであるべきだった！
⇒2020はそうした！

戦略軸

僕たちだってやれる！
こうやって勝ち抜く！
勝つための非情さと泥臭さ！

124CP戦略を着実に実行
監督の差配成功

個別目標設定

相互サポート

脱落者はレギュラーをサポート

個人が作成する目標管理シート
原監督が企業の営業部員時代に
培った、達成感味わい法

勝利への執念

自己申告

冷徹なる差配と実力主義
楽しみなど超越しろ！

自分の強み弱みを全て開示

※勝てる武器と戦略を具備して、必ず勝て！



124CP

※ 前ページの勝利のための基本戦略が完璧に遂行できたから！

※もはや挑戦者ではない！
※常勝のプロで無ければならぬ！



温情という魔が差した 監督の情的ブレが 往路で響いた

共同寮生活
監督と選手間の近い距離

+アルファの武器

勝ち続ける戦略

情報共有

戦略軸
勝利軸
ビジネス軸

強み増進の自主練

青学トレ；体幹トレ（けが減少）
独創的な練習コース

情報軸

自律軸

連帯軸

勝利

チーム志向

チームの勝利が全員の勝利
レギュラー獲得競争あり
4年生でも出場不可のことも

僕たちだってやれる！
こうやって勝ち抜く！
勝つための非情さと泥臭さ！

相互サポート

脱落者はレギュラーをサポート

個別目標設定

個人が作成する目標管理シート
原監督が企業の営業部員時代に
培った、達成感味わい方

自己申告

自分の強み弱みを全て開示

勝利への執念

冷徹なる差配と実力主義
楽しみなど超越しろ！

123CP⇒124CPであるべきだった！
⇒2020はそうしたが！
戦略軸

※勝てる武器と戦略を具備して、必ず勝て！



※ 前ページの勝利のための基本戦略が完璧に遂行できたから！
 ※もはや挑戦者ではない！
 ※常勝のプロで無ければならない！

進化型125CP



共同寮生活
監督と選手間の近い距離

+アルファの武器

情報共有

勝ち続ける戦略

チーム志向

チームの勝利が全員の勝利
レギュラー獲得競争あり
4年生でも出場不可のことも

連帯軸

情報軸

戦略軸
勝利軸
ビジネス軸

強み増進の自主練

青学トレ；体幹トレ（けが減少）
独創的な練習コース

自律軸

勝利

124CP⇒125CPへと完全化！

戦略軸

僕たちだってやれる！
こうやって勝ち抜く！
勝つための非情さと泥臭さ！

125CP戦略へと進化
その実行が奏功

個別目標設定

相互サポート

個人が作成する目標管理シート
原監督が企業の営業部員時代に
培った、達成感味わい方

脱落者はレギュラーをサポート

勝利への執念

自己申告

自分の強み弱みを全て開示

冷徹なる差配と実力主義
楽しみなど超越しろ！

※勝てる武器と戦略を具備して、必ず勝て！



- ※1 競争戦略の概念構造が適確でバランスがとれていれば、勝利に近づく。
 - ・マーケティングでいえばそういう商品はまず売れる。
 - ・勝ちたければ、まず2018年青学勝利時の基本戦略概念構造を学ぶ（真似る）こと。
- ※2 青学にとって最も重要なことは敗退時の戦略概念分析である。2019年の猛省。
- ※3 青学が今後更に勝利を続けるには、2020年勝利時の概念構造のソリューション部分の強化が重要。
- ※4 他の大学が青学に勝利するには、※3の青学戦略を超えるバランスのとれた勝利のための概念構造を構築することが肝要。124CP（4軸）。
- ※5 各大学には固有の文化や伝統があるので、単純に青学戦略を真似るだけでは破綻する可能性がある。固有の文化・伝統を十分に組み込んだ戦略構築が近道となる。無理強い破綻し易い。
- ※6 コンセプト・パッケージにおいて5軸以上設定することはあまりお奨めできない。それは全体のバランスが取りにくいことと、増えた柱群の個別ソリューションを精確に実行することが難しいから。
- ※7 短兵急には事は成就しないことを肝に銘じ、少なくとも3年越し、できれば5年がかりで戦略をじわじわと仕込むのが肝要。そのときに大切なことは指導者のブレない継続的な指針の表明である。

文責 概念デザイン研究所 所長 山口泰幸 taizan@gainendesign.com



- ※1 2020年12月に指摘したように青学戦略が124CPに進化し、着実にそれが実行できていれば、この戦略は概念構造的に高度な戦略性を保持できるので、そのまま2020年1月に引き続き、2021年1月は2度目の二連覇達成が可能でありました。
- ※2 2021年1月は復路優勝という大挽回展開をみせたものの、往路で12位と大誤算があったため、総合優勝は駒沢大学に持って行かれました。この往路敗北の原因は一部の選手に大ブレーキが掛かるという大誤算があったことによりますが、その原因を招いた往路敗北の真因は、「情に流されて124CPの戦略概念構造を逸脱した」監督の采配ミス；選手起用ミスにある。これは監督ご本人も認めているところです。
- ※3 本来再復活を狙う2021年1月は徹底的に124CPの戦略概念構造を冷徹に完遂することにあつたわけです。戦略の概念構造を、万が一蟻の一穴があつて逸脱すると戦略自体が大崩れすると言うことを、2021年はおそらく痛感したのではないのでしょうか。
- ※4 さて2022年1月の結果を考えてみましょう。原監督がおっしゃるとおり、青学の完全勝利であり、これは監督および青学陣が理想として抱いてきた登頂ポイントであるに違いないでしょう。まったくその通りで、2022年の青学の勝利のための戦略概念構造は、まさにダントツ勝利を保証するに足る優れたものであつて、これは筆者の想像を超えたものでもありました。
- ※5 筆者の想像は2022年の青学は124CPの完遂であり、他大学はそれに対抗した124CPの戦略概念構造のせめぎ合いになるのか…というものであいましたが、実に青学はさらにその上を行く戦略概念構造の125CPを保持しつつ、同時にそれを完遂させたのであります。これにはいささか驚きました。
- ※6 勝負である以上、勝利はダントツ；完全でなければならぬと思います。今回のような進化した125CPによって完全勝利を取めると、当分の間、他大学はそれを凌駕できません。つまりこの路線を貫けば、数年以上、青学の箱根駅伝王道は崩せないことになってしまったわけです。
- ※7 青学に今後、大きな事故・ケガ・病気・異変などが無い限り、即ち他大学にとって青学の敵失が無い限り箱根駅伝では2位が最上位になるということを示唆しています。その進化した青学の戦略概念構造とは一体何なのか…それを今回はクイズにしておきたいと思います。概念デザインの実習としてはちょうど良い題材であると思います。
- ※8 概念デザイン・メソドロジーのコンセプト・パッケージ実習⇒2022年の青学勝利のための125CP戦略の新しい軸名と2つの柱を明確にしてみてください。
新たな5番目の軸名『○○○軸』、2つの柱『…………』、『…………』



参考資料

※概念デザイン研究所の各種資料

- ・エッセイ「BigBoss新庄剛志新監督って行けそうな気がする」 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/gainendesignmethodology-ale-for-Shinjyosan.pdf>
- ・エッセイ「アーティスティックな椅子の概念デザイン」 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/gainendesignmethodology-gainendesign-for-artistic-chair.pdf>
- ・エッセイ「概念メタモデル論」；メタフィケーションの魔術 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/gainendesignmethodology-gainen-meta-model.pdf>
- ・エッセイ「“概念”って何！？…“概念”自体が生まれるプロセスについて」 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/gainendesignmethodology-gainen-seisei-process.pdf>
- ・エッセイ「概念デザインメソドロジーの深化と実践；コンセプト・パッケージ法による圧倒的デザイン能力の向上」 2021
<http://www.gainendesign.com/gainendesignmethodology-brush-up-by-CP.pdf>
- ・エッセイ；概念デザイナー山口泰幸の足跡；概念デザイナーを目指したい人へ捧げるLullaby 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/Gainendesigner-Yamaguchi-Taikoh's-Chronicle.pdf>
- ・エッセイ；大谷翔平選手の凄さの秘密を概念分析してみると… 2021
<http://www.gainendesign.com/ron/gainendesignmethodology-secret-of-Ohtanisan.pdf>
- ・デザイナーの卵；美大生のための概念デザイン講座#1～#10…メニュー公開！ 2021
<http://www.gainendesign.com/0id/gainendesign-bidaisei.html>
- ・概念デザイン研究所ホームページ 1996年～
<http://www.gainendesign.com/>

注意書き

- ※ 本論説は著作権および商標権により守られていますのでお取り扱いにご注意下さい。
- ※ 本論説pdf版はダウンロードおよび印刷は可能とします。ただしデータの改変・2次使用は、ご遠慮下さい。
- ※ 本論説のコンテンツの利用をお考えの場合にはメールにてその旨をご連絡下さい。メール宛先；taizan@gainendesign.com
- ※ 概念デザイン全般についてご質問がありましたらお気軽にその旨をご連絡下さい。メール宛先；taizan@gainendesign.com
- ※ 概念デザイン研究所のホームページに概念デザイン関係の理論や方法論、資料が掲載されています。
<http://www.gainendesign.com>

◎ 概念デザインの定義；概念デザイン研究所における公式な表明

『取り巻く環境総体を総合的に認識し、カタチを生み出す潜在構造 およびカタチの創造を通じて、思想の発信、技術の牽引を戦略的かつ実践的に展開すること。そしてその一連の行為は調和的で生命感に溢れ、中心に魂が存在するもの。』

- ◎ 概念の定義；武蔵野美術大学研究紀要No37-p124「デザイン過程におけるコンセプト・メイキング方法論」での解釈
概念とは「何かについての思考の枠組み」

